

経営比較分析表（令和5年度決算）

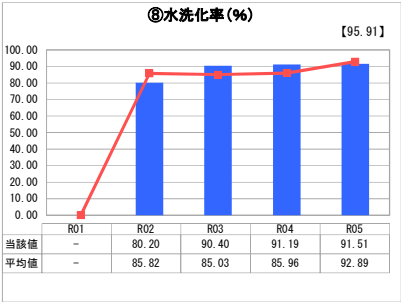
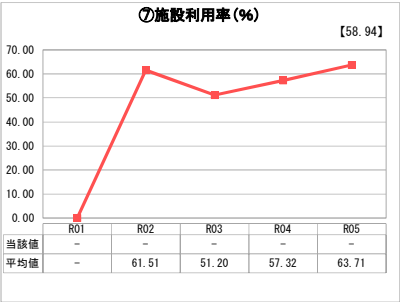
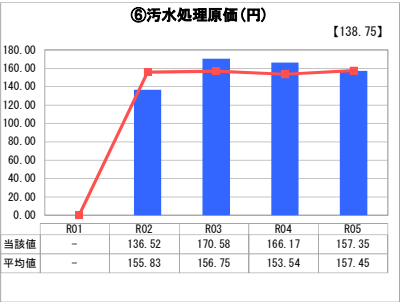
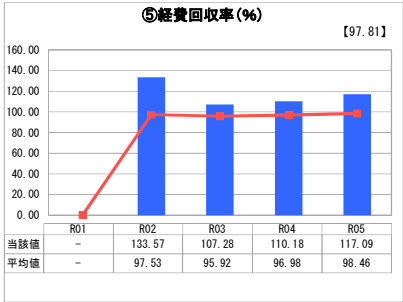
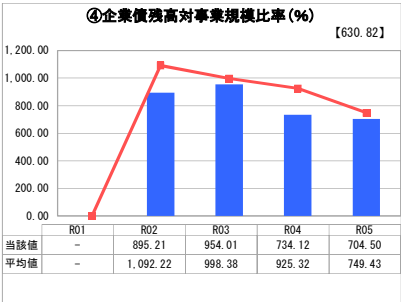
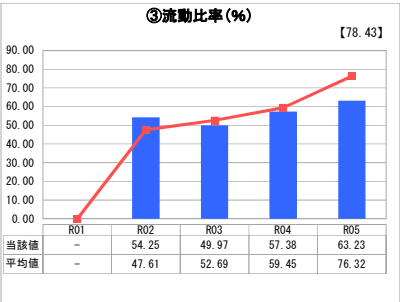
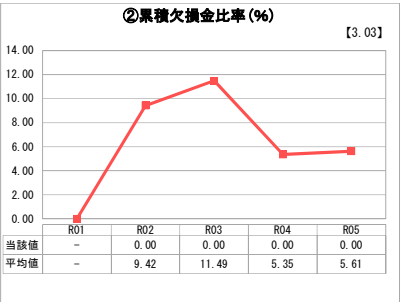
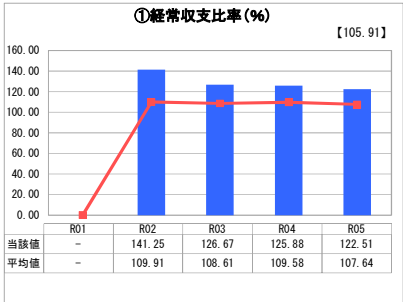
宮城県 東松島市

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	下水道事業	公共下水道	Bd1	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金(円)
-	84.17	84.17	95.13	3,575

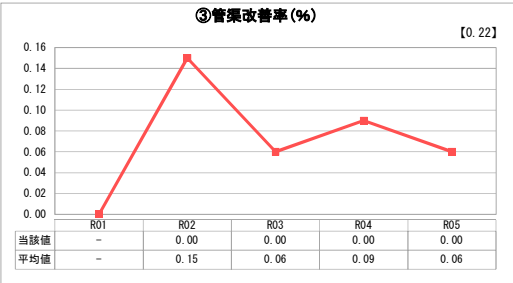
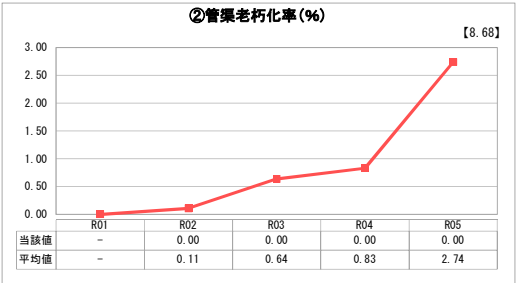
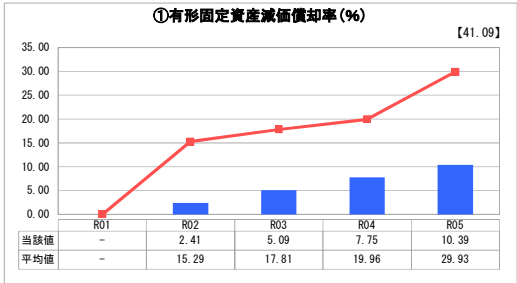
人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
38,343	101.30	378.51
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
32,125	8.88	3,617.68

グラフ凡例
■ 当該団体値（当該値）
— 類似団体平均値（平均値）
【】 令和5年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

経常収支比率及び経費回収率については、前年度と同様に100%を超えているため、経営の健全性は保たれている。今後も健全な経営を維持していくためにも、経費の削減に努めていく。

流動比率については、100%を下回っており、類似団体平均値も下回る水準となっている。企業債償還金が負債の大半を占めていることが要因であり、今後は企業債残高が減少することから、流動比率の改善が見込まれる。

企業債残高対事業規模比率については、減少傾向となっており、類似団体の平均値を下回っている。今後も改築更新事業などを計画的に進め企業債残高対事業規模比率の減少に努めていく。

汚水処理原価については、類似団体平均値と同水準であるが、物価の高騰や今後の更新費用等の増加が懸念されるため、経営の効率化などによる適正な水準の維持に努めていく。

水洗化率について、前年度と比較してほぼ横ばいであり、類似団体平均値と同水準となっている。今後も継続して普及啓発事業を実施し、水洗化率の向上に努めていく。

2. 老朽化の状況について

令和2年度から法適用しているため、有形固定資産減価償却率は類似団体平均値を下回っているが増加傾向にある。

汚水に係る事業については、平成5年度から実施しており、管渠については耐用年数が半分を経過している状況にあることから、中継ポンプを中心に改築更新等を随時行っている。

今後も適正な管理を徹底し、計画的な更新を行っていく。

全体総括

前年同様、物価高騰による費用増大が経営に影響を及ぼしているものの、健全な経営が行われている。

しかし、人口減少や節水機器の普及等に伴う下水道使用料収入の減少や施設の老朽化に伴う改築更新事業への投資の増大等、今後経営環境がより厳しくなることが想定される。

このため、事業運営に係る経常的な費用の削減と適正な使用料の設定について適宜検証を行うほか、施設の計画的かつ効率的な更新事業を実施し、健全な経営が維持できるよう努める。

※ 「経常収支比率」、「累積欠損金比率」、「流動比率」、「有形固定資産減価償却率」及び「管渠老朽化率」については、法非適用企業では算出できないため、法適用企業のための類似団体平均値及び全国平均を算出しています。